

# 大人が絵本を

## 第79回 だいじょうぶ、絵本があります

司書・読書アドバイザー 安藤 宣子\*

小児歯科医師 濱野 良彦\*\*

\* 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)  
\*\* 医療法人元気が湧く 理事/ファウンダー

### 福岡発「黙食」拡散中<sup>1)</sup>

コロナ禍の新たなワードが、また生まれました。「黙食」。発信元は、福岡市南区のカレー店「マサラキッチン」で、ビブリオキッズの目と鼻の先にあるお店です。1月13日、福岡県に2回目の緊急事態宣言が発出され、再び苦境に立たされた飲食店でしたが、マサラキッチン店主の三辻忍氏が1月15日に、自作の「黙食」ポスターをTwitterで公開すると、無料データのリツイート(転載)が5万を超え、話題が話題を呼んだのです<sup>1)</sup>。そして、緊急事態宣言が福岡など10都府県で延長される中、「黙食」の2文字は静かに全国へと広がっていきました。

私たち医療法人元気が湧くが「風は西から」と発信するのは、絵本力を通して医療の分野に新しい風を吹き込むことを子どもたちのために宣言する「絵本の日 福岡宣言」です。そして、この精神を基盤にした絵本の賞が、「絵本の日アワード in FUKUOKA エピソード大賞」なのです。現在、絶賛受付中の絵本の日アワード2021には、自粛中にあっても全国各地から熱いエピソードが福岡に届けられています。

博多の書店ガールたちの熱い思いがこめられた「この本よかつ！子どもの絵本大賞 in 九州」は、九州から発信する絵本の賞です。

新型コロナに負けず、福岡県は元気です。ウイルスに行動を制限されようとも、少しでも日常を取り戻せるよう、さまざまな工夫がなされています。新型コロナウイルスを乗り越える思いは、47都道府県、全国一丸です。世界共通の願いです。

福岡発「黙食」ポスターは、「目立つし、伝わりやすい」と、全国の飲食店に拡散されています。日本国民がつながっているのです。

### もっと福岡発！

福岡県で2回目の緊急事態宣言が解除されたとき、子育てを応援する書籍が福岡の地より発行されました。

『だいじょうぶ、絵本があります 子育ての「困った」を解決する300冊』



本の表紙は笑って泣いて、いろんな表情の子どもたちが絵本と戯れている画です。この画をよく見ると、イラストではありません。素焼きの人形なのです。制作者は、福岡市を拠点に活動する造形作家の入江千春氏です。素焼きの人形と照明、それに博多弁を合わせたあかりのオブジェ“あかり絵”は入江氏オリジナルの世界です<sup>2)</sup>。

本連載第49回(本誌2018年11月号)「災害国ニッポン 子どもの心のケアのためにできること」で紹介しました伝承遊び絵本『あそぼーう』(海鳥社)の作者なのです。この絵本の画もすべて素焼き人形で表現されています。

土から生まれる人形に入江氏がいのちを吹き込んだ“あかりっ子”を、育児ガイドブック『だいじょうぶ、絵本があります 子育ての「困った」を解決する300冊』のイメージ世界に表現されたのが、上記の表紙絵です。表紙だけで、日常から離れた世界に入り込んでしまいます。本書の著者とは筆者の安藤宣子、共著者の濱野良彦が監修を務め、福岡の出版社である海鳥社より発行いたしました。

# 手にするときは！

子育ての「困った」を解決する300冊

企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

## With コロナ、孤立した母児に目を向けて

人と人が直接会うことがためられる社会では、孤立して育児をされているママもいます。最初の緊急事態宣言が5月に解除された後の9月、ビブリオベイビーに初来館された新米ママさんは、2月に生まれた赤ちゃんにとって病院以外ではじめてのお出かけと涙ながらに語られました。それまで毎日、涙があふれてどうしようもなかったことも打ち明けられたのでした。身を守るための新しい生活様式によって、日中孤立して子育てをしているママたちがたくさんいて、コロナ禍の社会問題ともなっています。

本誌2021年2月号特集で、阿比留久美氏が「わたしたちの生活は、超短期的な視野でみれば『不要不急』な『ふつう』のことで構成されており、そんな『不要不急』のことの欠如が積み重なっていくことが一人ひとりの子ども・若者の緊急事態へとつながっていってしまう」と述べていますが、この「若者」を「母親」に置き換えて同様の問題提起ができるのです<sup>3)</sup>。



『あかちゃんたいそう』  
鈴木まもる 作  
(小峰書店)



ビブリオキッズ&ベイビーでは、そんな親子をお待ちしています。感染対策を徹底したうえで、巣ごもりストレスのママと赤ちゃんに向けて絵本を介したケアを行っています。ママのお膝の上で手と手を取り合っ『ダンスダンス タッタッタ』(角野栄子 文、ボコヤマクリタ 絵；ポプラ社)、親子ふれあいの『あか

ちゃん たいそう』、赤ちゃんをおにぎりに見立てる『だっこのおにぎり』(長野ヒデ子 作、つちだのぶこ 絵；俊成出版社)でスキンシップ遊び、それから、わらべ歌絵本『ととけっこう よがあけた』(小林衛己子 案、真島節子 絵；こぐま社)を使ってリズム遊び等々、ほんのひと時でも窮屈な日常を忘れて、親子の笑顔を引き出すお手伝いです。

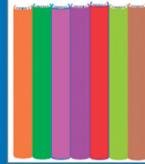
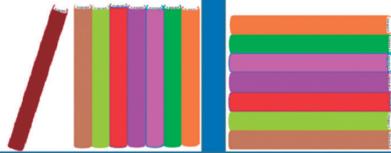
## だいじょうぶ、絵本がお悩み引き受けます

新型コロナウイルスで様変わりしてしまった育児環境下で、奮戦中のお母さまに届けたい育児ガイドブックが『だいじょうぶ、絵本があります 子育ての「困った」を解決する300冊』なのです。実際に受けた育児相談の内容分析をして、ビブリオキッズ&ベイビーや、地域のボランティア活動で活躍した絵本、または人間と読書の発達段階の両知見をふまえて活用できる絵本を紹介するものです。

書籍内での案内はここまでですが、司書・読書アドバイザーという専門的立場では、お母さまとお父さまに子どもの発達を考えていただく目的も含まれています。子育ての「困った」は、子どもの成長の証という側面もあって、絵本を介在させると子どもだけでなく保護者にも変容をもたらすという気付きをサポートするものでもあります。

また、絵本のお話には、多様な個性の子どもたちが登場します。大人は登場しない子どもだけの世界が描かれたお話があれば、家族の成長物語もあります。絵本に描かれている子どもと大人の姿をみると、子どもの発達や子育てについて何らかの気づきがあるのです。

子育てのアドバイスともいべきヒントが絵本には表現されていますので、その発見もしていただき



たいと願うものです。親子で一緒に読んで、時にはお母さまやお父さまが一人で読んで、「困った」を「わかった」「良かった」「だいじょうぶ」に変換していただけたらと思います。

## 必要なページだけで、だいじょうぶ

『だいじょうぶ、絵本があります』は、株式会社リトル・ママ（現 株式会社エンファム）のフリー・ペーパーから生まれた本です。“ママと子どもの明日を応援”する情報紙「リトル・ママ」の企画で、2016年4月に始まった連載記事「ぴったりがみつかる親子の絵本時間」において2019年11月まで毎月紹介した絵本を一挙に収載しました。

Q&A形式の質問は、すべてリトル・ママのユーザー、つまり子育ての渦中にあるママたちが迷い悩んで声にした育児相談であり、読書相談なのです。同じような質問がたくさん届けられていましたので、子育て中のお母さまには共通のお悩みをおもちの方も多いでしょう。きっと、支えになれると推奨できるものです。

紙面連載時はたくさん届けられる質問の中から、毎月厳選してテーマを選んでいましたので、記事では採用されなかった相談もありました。今回の書籍化に当たり、過去の資料をたどって採り上げられなかった質問も収めています。また、連載当時より時を経たため、改めて吟味する作業からはじめ、大幅な加筆・修正を行いました。

170ページに及ぶ書籍ですので、忙しいお母さまが1ページから順に読むことを想定したものではありません。今現在の「困った」に当てはまるテーマや、お子さまや親御さんの興味・関心に該当する項目を目次で確認して、そのページをピックアップする使い方をおススメします。

## 子育て中のママに「だいじょうぶ」を伝える

では、『だいじょうぶ、絵本があります 子育ての

「困った」を解決する300冊』の中味をのぞいてみましょう。全8章で構成される本書のうち、お母さまにぜひとも読んでいただきたいのは、7章「ママのために」です。“妊娠中におすすめ”や“イヤイヤ期におすすめ”などママのための絵本を選びすぐっています。とりわけ、“子育てにイライラしがちなママに”は、すべてのママ共通のテーマだと思しますので、小児歯科医院でも、地域の育児支援に活躍するものだと確信しています。

質問者は6歳男児、4歳女児、2歳男児と3人の子育てに奮戦中のママで、「子育てでイライラしがちな私に、子どもと楽しく向き合える絵本はありますか」との問いがありました。

『オリビア』  
イアン・ファルコナー 作  
谷川俊太郎 訳  
(あすなろ書房)



そこで登場させたのは、子ブタの女の子『オリビア』シリーズです。自由奔放、天真爛漫なオリビアは、子どもの特徴がそのまま映し出されているのです。おませで、探究心のままに動いて、その行動が愉快痛快、その上、かわいらしくて親心をくすぐられてしまいます。「子どもにとって、こうだよ」と笑って納得すると同時に、オリビアのママの偉かさ、もうひとつ、芯の強さを読み取ってほしいと思います。紹介しました。『オリビア クリスマスのおてつだい』は最高です。

## 「だいじょうぶ」がいっぱい！

各章をご紹介します。

リトル・ママ編集部に届けられた質問のうち、年齢に関係なく、もっとも多いリクエストであった“野菜嫌いを克服！”や、小学校で便を我慢するお子さまに向けて“学校でトイレに行けるかな？”など、

「生活習慣」を最初の章 Capter 1 におきました。

さて、皆さまの小児歯科医院では患者さま親子の中に、きょうだいげんかが絶えなくて困っているママや、パパが育児に協力的でなくて悩んでいるママはいらっしゃいませんか。そんなママへ「だいじょうぶ」と手を差し伸べるのが、Capter 2 「家族の絆」です。

Capter 3 は「可能性を伸ばす」と題して、“自分のことは自分でやろう！”“失敗しても大丈夫”と思えたり、“あきらめない力”を養ったりできる絵本、“お手伝いの絵本”などもあります。

Capter 4 では、ビブリアキッズでもよくある質問の“図鑑の選び方”や“時計の読み方”、“交通ルール”、“ひらがな遊び”等々「学びをサポート」する絵本を揃えました。

『どうぶつあいうえおえほん』  
ひがしかずこ文  
デイヴィッド・ウォーカー 絵  
(岩崎書店)



「学び」の次は、「感じる心」と題した Capter 5 です。“いのちの大切さ”や“お友だちとの関係”、“言葉づかい”など、保護者が共通して気に掛ける視点です。

そして、「思いっきり楽しもう」の Capter 6 では、“身体遊び絵本”から、“歌って楽しむ”、“笑える絵本”までおうちでの家族遊びをたっぷり提案しています。

## だいじょうぶ、絵本があります

子育てには喜びも戸惑いも、ニコニコもイライラも、感情の起伏は付きものです。「どうして良いかわからない」、「だれかに助けてほしい」、そう思うのも当然です。助けになる「だれか」を絵本に求めることもひとつの手段で、それを若いママたちに発信してほしいと思います。

最後に、児童文学者で児童文学研究者でもある松居直氏の論説をご紹介します。「絵本は、幼児にとって体験を豊かにする機会を与える。自分の力では物語のイメージが浮かばない子でも、挿絵を手がかりにして心の中にイメージを思い描く。挿絵に助けられつつ、子どもは心の中に物語の世界を描いていくことができ、一つの新しい体験を自分のものにする。まだ十分に発達していない子どもの想像力を補い、豊かにするのに大きな役割を持っている。」と著書『絵本とは何か』で述べています<sup>4)</sup>。すなわち、子どもたちは絵本で体験を重ねることで感情を深め、成長を遂げるのです。

そして、松居氏が続けて述べている「お母さんお父さんが自分に本を読んでくれること自体が、子どもにはどれほど嬉しいことか。おまけにその絵本がおもしろければ何という幸せなひとときでしょう。(中略)親と子が共通の精神的経験を持っていること—絵本を読んであげること—は、親と子の人間関係にはかり知れぬ重みと意味がある。絵本は、親と子を結ぶ心の広場である。」との説示に、お父さまお母さまとの関係が重要なことがわかります<sup>4)</sup>。子どもの豊かな成長には、絵本を介した保護者の存在が要というわけです。

絵本を子育てサポーターと位置付けて、困ったときもにこやかなときも、いつでも力になってくれることを示した書籍が、『だいじょうぶ、絵本があります 子育ての「困った」を解決する300冊』です。

### 文献

- 1) 西日本新聞社：福岡発「黙食」拡散中，西日本新聞，p.23，2021年2月8日朝刊。
- 2) 入江千春：あかり絵の世界，あかり絵—world of akari picture，HP <http://www.akari-e.com/>
- 3) 阿比留久美：コロナ禍でも子ども・若者の育ちと生活を守るための社会の責任，小児歯科臨床 26(2)，pp.18-24，2021。
- 4) 松居直：絵本とは何か，日本エディタースクール出版部，東京，pp.3-9，132-135，1973。

